

# めぐみイエス・キリスト教会

2024年11月17日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第732号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌235「罪 重荷を除くは」 p. 356

【交読文】 No.48 イザヤ書35章 p. 917

【賛美Ⅱ】 新聖歌448「神より生まれし者よ」 p. 722

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「ラッパを吹き鳴らせ」

【聖書朗読】 ルカの福音書7章24節～28節(新約p. 125上段)

【礼拝説教】 《一番小さな者とは？》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄与」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(ルカの福音書7章24節～28節)

7:24 ヨハネの使いが帰ってから、イエスはヨハネについて群衆に話し始められた。「あなたがたは、何を見に荒野に出て行ったのですか。風に揺れる葦ですか。

7:25 では、何を見に行ったのですか。柔らかかな衣をまとった人ですか。ご覧なさい。きらびやかな服を着て、ぜいたくに暮らしている人たちなら宮殿にいます。

7:26 では、何を見に行ったのですか。預言者ですか。そのとおり。私はあなたがたに言います。預言者よりもすぐれた者をです。

7:27 この人こそ、『見よ、私は私の使いをあなたの前に遣わす。彼は、あなたの前にあなたの道を備える』と書かれているその人です。

7:28 私はあなたがたに言います。女から生まれた者の中で、ヨハネよりも偉大な者はだれもいません。しかし、神の国で一番小さい者でさえ、彼より偉大です。」

### ●ポイント1. 主イエスが引用された旧約聖書箇所とは？

※マラキ書3章1節前「バプテスマのヨハネの働き」(旧約p.1633上段)

3:1「見よ、私は私の使いを遣わす。彼は、私の前に道を備える。」

### ●ポイント2. 「女から生まれた者の中でヨハネよりも偉大な者はだれもない」とは？

※ルカの福音書1章13節～17節「主の使いの言葉」(新約p.106下段)

1:13 御使いは彼に言った。「恐れることはありません、ザカリヤ。あなたの願いが聞き入れられたのです。あなたの妻エリサベツは、あなたに男の子を産みます。その名をヨハネとつけなさい。

1:14 その子はあなたにとって、あふれるばかりの喜びとなり、多くの人もその誕生を喜びます。

1:15 その子は主の御前に大いなる者となるからです。彼はぶどう酒や強い酒を決して飲まず、まだ母の胎にいる時から聖霊に満たされ、

1:16 イスラエルの子らの多くを、彼らの神である主に立ち返らせませす。

1:17 彼はエリヤの霊と力で、主に先立って歩みます。父たちの心を子どもたちに向けさせ、不従順な者たちを義人の思いに立ち返らせて、主のために、整えられた民を用意します。」

### ●ポイント3. 神の国で一番小さな者とは？

※使徒の働き1章8節「主イエスの弟子への言葉」(新約p.232下段)

1:8「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

## ◎先週のメッセージ【ヨハネの弟子たちの訪問】

《ここで、ルカはバプテスマのヨハネについて書き記しています。ヨハネは捕らえられ、獄中にいることが分かります。ヨハネの弟子たちは、自由にヨハネの身の回りの世話をすることは許されていきました。そこでヨハネは、二人の弟子たちを主イエスのもとに送ります。

「私たちはバプテスマのヨハネから遣わされて、ここに参りました。『おいでになるはずの方はあなたですか。それとも、他の方を待つべきでしょうか』と、ヨハネが申しております。」

この言付けですが、ギリシャ原語は句読点がなく、疑問文にも、また肯定文にも取れるのです。よって、肯定文と取りますと、「あなたこそ、あの来るべき救い主です。それとも、私たちは他に待つべきだとおっしゃるのですか。(現代訳)」となるのです。主イエスは答えます。『「あなたがたは行って、自分たちが見たり聞いたりしたことをヨハネに伝えなさい。目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、貧しい者たちに福音が伝えられています。』と。

ヨハネは、主イエスにバプテスマを授けた時、神様によって、このお方が救い主であることを示されました。それにも関わらず、なぜこのような質問を弟子たちに託したのでしょうか。尾山先生の解説ですと、やはり、ヨハネも人の子であって、人間的な弱さを覚え、今すぐにも解放して欲しい、助け出して欲しいと言う思いがあったからです。

しかし、主は素晴らしい言葉を彼らに託しヨハネに伝えます。「だれでも、私につまずかない者は幸いです。」

信仰生活には、波があります。時には試練がやって来ます。すると人は恐れ、主イエスを疑い始めるのです。私たちは、主の御もとに留まり、主の語られた御言葉に聞き従う者です。このお方だけを信じ、信頼して行くのです。なぜなら、このお方こそ救い主だからです。》

## ◎お知らせ

※11月24日の第四主日礼拝は、平常通り、午前10時からです。